

平成26年度第8回定例（拡大）理事会議事録

日時：平成27年1月18日（日） 午前10：12～12：50

午後13：20～17：00

場所：奈良県理学療法士協会 事務所

出席者：理事；尾崎、石橋、増田、西田、松村、田平、廣池、佐藤、中村

部長・委員長；吉田、布上、細川、江村、櫻井、岡本、徳久、後藤、栗本、堀口、
赤松、藤川、福本、中野

監事：中俣、北村、門脇

議事録署名人：尾崎、門脇、北村、中俣

書記：中野、小山

議事：1. 各局・部・委員会26年度事業報告

2. 26年度決算報告（現状）

3. 各局・部・委員会事業計画案

4. 27年度予算案報告・審議

5. 資金調達及び設備投資の見込みについて

6. 会長行動報告

7. 会員異動承認

8. 総会議案について

9. その他

（午前の部）

1. 各局・部・委員会26年度事業報告

各局・部・委員長から平成26年度事業報告について説明がなされ、審議の結果、理事全員に承認された。

＜事務局（増田事務局長）＞

1）総務部（中野部長） ・ 例年通り、事業を遂行出来た。

2）会員管理部（吉田部長）

・ 例年通り、事業を遂行できた。

・ 今年度で会員数は1000名を超え、1070名となった。

3）財務部（布上部長）

・ 予算案の通りに、おおむね遂行できている。

・ 昨年度の50万円の残額分を合わせ、今年度は130万円の残額がある。

・ ホームページリニューアルに伴い、支出予定。

・ 各部・委員会で今年度予算案より支出が減るようであれば報告してほしい。

・ 現時点での今年度の清算で、財務部に提出するものがあれば速やかに行う。

4）福利厚生部（細川部長）

・ 例年通り、事業を遂行できた。

- ・例年行っていたボウリング大会は、今年度は富士ボウリングが使用できなかった。代わりにレインボーワールド橿原店で行った。
- ・来週の1月23日に新年会開催予定である。
- ・マラソン大会の参加に関しては、橿原リレーマラソンに参加予定だったが申し込み出来ず参加できなかった。3月に開催される大阪城リレーマラソンへの参加予定。

< 社会局（佐藤社会局長） >

5）医療保険部（部長代理 櫻井介護保険部長）

- ・例年通り、事業を遂行出来た。
- ・会員からの問い合わせが1件あった。
- ・問い合わせはメールや電話であったのか。
⇒今年度はメールのみ。

6）介護保険部（櫻井部長）

- ・介護予防事業、地域包括ケア会議ニーズについてのアンケート調査を行った。回収率が低く、約3割であった。催促したが2事業所からしか返答がなかった。
- ・回収率の低さの原因は何か。
⇒理学療法・理学療法士に対して好意的ではない事業所の返答がなかった。
理学療法士が活躍できる場面で困っている事例が少ないのではないかな。
今後の情報交換のために無記名にしなかったが、それに抵抗があったのではないかな。
- ・アンケート結果はメールリストで送信済みである。
- ・ホームページには掲載しないのか。
⇒協議の結果、掲載する。
- ・介護予防推進セミナーは1月25日に開催予定。現在、申し込み者45名である。
- ・27年度の情報交換会は3月11日に予定しているが、時期尚早ではないかと意見がある。来年度事業となるが、4月開催とするのはどうか。
⇒正確な情報交換会の場としたいので、来年度事業の4月開催とする。

7）社会福祉部

- ・例年通り、事業を遂行できた。

8）理学療法啓発部（岡本部長）

- ・計画通り、事業を遂行できている。
- ・今年度より、理学療法啓発部主催で公開講座を開催した。
- ・公開講座のテーマや場所は、今後の課題である。
- ・理学療法川柳に関しては、29首の応募であった。昨年度は400首だったので、大幅に減っている。大幅に減っている原因として日本理学療法士協会のホームページに掲載しなかったこと（各院・事業所へのポスター掲示のみ）、1人1首までの応募に限定したこと、インターネットからの申し込みのみにしたことが挙げられる。昨年度は

遠方からの申し込みがあったが、今年度はなかった。

- ・理学療法川柳の受賞作品の発表はホームページで行う。

<学術局（石橋学術局長）>

9）生涯学習部（徳久部長）

- ・例年通り、年4回の新人教育プログラムセミナーを開催している。4回目は2月1日に開催予定。
- ・第2回目の開催場所（部屋）が大学側の都合で変更となった。
- ・また、同日に大学内の駐車禁止場所に駐車している会員がおり、大学側より指導を受けた。今後は、ホームページへの掲載・研修会当日に確認することで防いでいく。
- ・セミナーを重ねるごとに全講義を聞かず、途中で帰宅する会員が増えている。第4回は入退室管理を行う予定。
- ・入退室管理はどのように行うのか。
⇒入室時・退室時ともに確認予定。しかし、途中の講義だけ出席せず最初・最後の講義だけ出席という場合には管理できない。

10）研修部（後藤部長）

- ・部会は4回開催。
- ・今年度は第1回研修会に医師に講師依頼したため、予算が大幅に増加した。
- ・研修会テーマは多岐にわたって開催できている。
- ・第4回研修会を残すのみとなった。2月8日開催予定だが、参加人数が伸び悩んでいる。テーマから内容が想像しにくいといった意見もあった。また、3士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会の開催日と同日であるためではないか。
- ・運動器系の研修会は毎年参加人数が多い。

11）学術誌部（部長代理 石橋学術局長）

- ・計画通り、事業を遂行できている。
- ・原稿の応募はあるのか。
⇒今年度は3点あった。

<広報局（松村広報局長）>

12）ニュース編集部（栗本部長）

- ・計画通り、事業を遂行できた。・部会開催数を掲載し、再度提出する。
- ・本事業は平成26年度をもって終了し、解散とします。

13）会誌部（堀口部長）

- ・20号はすでに発行済みである。1100部発行した。
- ・現在21号の編集に取り掛かっている。来年度発行予定である。
- ・21号は各病院・事業所・自宅会員・関連施設へ各1部ずつ郵送予定であるため、発

行部数は320部程度に減る予定。

14) ホームページ管理部 (赤松部長)

- ・記事の掲載は現時点で92件。
- ・ホームページリニューアルは順調に進み、1月5日に公開した。3月末までは順次リニューアルを行っていく。
- ・今後は各部・員会が各自で運動できるように、掲載方法の説明を行う。
- ・お知らせメール登録は現在で何件か?
⇒163件。メリットを伝えていかないと個人情報なので受け入れにくいのでは。
- ・会員にははがきでお知らせメール登録の告知を行う。

<各委員会>

15) 第24回奈良県理学療法士学会準備委員会 (中村学会長)

- ・平成26年6月29日に万葉ホールにて開催。
- ・基調講演をしていただいた、松井先生の学会誌の投稿は今回はなし。
- ・今年度はドリンクコーナーの設置を行ったが、好評であった。
- ・一般演題は再募集したのか。
⇒再募集は行わずに19演題の応募があった。

16) 第25回奈良県理学療法士学会準備委員会 (細川準備委員長)

- ・今年度は会議12回開催。
- ・演題は11演題の応募があった。15演題程度を目標としている。
- ・特別講演・教育セミナー講師の選出・依頼・内諾は済んでいる。
- ・会場は奈良県産業会館を予定しており、すでに支払いも済んでいる。
- ・査読者の選出と依頼は済んでいる。
- ・今年度中には特別講演・教育セミナー講師へ公文書発行予定である。
- ・ホームページに掲載されている演題募集の案内の字が小さい(PDFファイル)のだが、他の方法はないのか。
⇒以下、赤松ホームページ管理部長より返答有り。

画像での投稿になっているためであると考えられる。PDFファイルであれば問題ない。テキストファイルが一番閲覧しやすい。上記を踏まえ、運用を検討する。

- ・趣意書と開催要項をホームページに掲載する。

17) 表彰審査委員会 (堀口委員長)

- ・例年通り、事業を遂行できた。
- ・表彰式は第24回の奈良県理学療法士学会で執り行った。

18) 新人研修委員会 (部長代理 細川福利厚生部長)

- ・計画通り、5コースの開催を行った。
- ・修了者の人数も記載し、再提出する。

19) 専門領域委員会（田平委員長）

- ・来年度よりスポーツ理学療法勉強会は終了。他勉強会の開催を予定している。
- ・本会の各勉強会が共催で行った研修は、3回の予定であったが2回となる。

20) ブロック活動推進委員会（藤川委員長）

- ・各ブロックの症例検討会を開催した。
- ・北和ブロックの症例検討会の演題募集は多いが、中和・南和ブロックは少ない。
- ・演題応募の声掛けをして中和ブロック2題、南和ブロック3題であった。
- ・中和ブロックは実技研修会を開催した。会員外の参加が2名あり、参加費は2000円に設定した。
- ・研修会はブロック活動の一環であるので、会員の参加費は無料。講師料の支払いなし。

21) 選挙管理委員会（部長代理 尾崎会長）

- ・日付の記載を行い、再提出。
- ・平成26年度第1回選挙管理運営委員会へ出席した。
- ・日本理学療法士協会役員選挙の投票してもらうように周知した。
- ・本会役員任期満了に伴う平成27・28年度役員選挙の実施を予定している。選挙となれば、平成27年5月23日の定期総会にて執り行われる。

22) 奈良マラソンメディカルサポート委員会（福本委員長）

- ・勉強会の参加人数を記載し、再提出。
- ・計画通り、事業を遂行できた。
- ・PTのニーズもあり、好評であった。
- ・救護所を3か所（第0・1・7救護所）に増やした。
- ・服装はどのようなものか。
⇒第0・1救護所は奈良マラソン救護部会の運営なので、奈良マラソン救護部会のジャンパー、第7救護所は本会の運営なので本会のピンクジャンパーである。
- ・救護所は全部で15か所あり、上記3か所以外にもPT要請希望あり。しかし、本会のPRはできない。

23) 法人設立20周年記念事業準備委員会（西田委員長）

- ・記念誌の発刊作業は6月で終了している。
- ・本委員会は今年度で終了・解散となる。

24) IT化・組織検討委員会（尾崎委員長）

- ・会議は4回開催した。
- ・ホームページのリニューアルに向けて進め、平成27年1月より一般公開されている。
- ・ニュース編集部の廃止以外は組織自体の変更はしない。しかし、分掌規程の一部変更が必要である。

25) 地域包括ケアシステム推進委員会（佐藤委員長）

- ・研修会の参加人数の記載を行い、再提出。

- ・事業計画に上がっていない委員会である（今年度夏より活動している）。

2 6) その他

- ・奈良県より、計画事業以外は行わないように指導を受けた。今後は計画事業以外を行う場合には、県に相談が必要である。しかし、計画事業以外というのがどのようなものを指すのかはあいまいである。計画事業以外のことを行う場合には、まず理事会を通す。
- ・議事録提出の期限は3月31日まで。修正があれば左記期間までに行う。
- ・事業報告は6月である。

2. 26年度決算報告（現状）

- ・役員・部員 費用支払い基準案について以下の説明があった。
- ・役員の場合は、月1回開催される理事会について会議費として1回の参加につき半日800円、1日1600円を支払う。
- ・協会より依頼された業務に従事する場合、昼食費として半日（約4時間）1000円、1日（約8時間）2000円を支払う。
- ・27年度より部員活動費（年間2000円現金支給）と会議用軽食費（年間500円現金支給なし）を廃止する。
- ・各部・委員会で開催される会議について、参加した会員に1回参加につき会議費を支払う。各部長・委員長は議事録を作成し参加メンバーの氏名記載は必須とする。
- ・会議費は上半期・下半期の2回に分けて支払い、上限は600円で社会情勢や本会の財務運営状況により変動する場合がある。
- ・各部長委員長は議事録と会議費支払簿を管理する。会議費支払簿は財務部の共有ファイルを使用する。
- ・年2回、5月の総会後拡大理事会と1月の拡大理事会の参加者には1人800円を支払う。
- ・理事会に招集された役員以外の部長・委員長（書記を含む）には1回800円を支払う。
- ・会議費支払簿とは所属部・委員会、部長・委員長氏名、会議開催年月日、要件、会場（括弧書きで市町村記入のこと）、時間、参加部員氏名、金額、印（サイン）を表にしたものである。
- ・以上、理事会で承認となれば運用開始となる。
- ・今年度分に関しては、今月中に会議費支払簿に既に開催した会議・研修会と未開催のもの両方を記入し議事録とともに財務部に提出。その際、すでに開催したものに関しては金額の欄に500円と記載する。未開催の場合は空欄にしておく。
- ・財務部から会議支払簿の返却後に部長・委員長は各部員・委員の印（サイン）をもらう。

- ・支払いは5月の定期総会で行われる予定。
- ・部・委員会によって活動量の差が発生しているところもあるので、公平さを持たせる。
- ・今年度はすでに部員活動費を支払っているため、多めの支出となる。
- ・研修会などで当日のみの補助として部員でない者にはどうすればよいか。
⇒部員名簿に掲載されている者のみへの支払いとなる。
- ・会議費と昼食費は別なのか。
⇒別で予算案を立ててもらう。
- ・現状よりもいい形で部員・委員に還元できればいいが、どうなのか。
⇒活動した部員・委員が明確に分かるので、活動してくれている者に還元したい。
- ・通信会議（メール会議）も会議費としていいのか。
⇒議事録などの証明があればよい。
- ・1人で活動している場合はどうすればいいのか。
⇒事務作業費という項目を設けるか。今後検討が必要。

3. 各局・部・委員会事業計画案

<事務局>

- 1) 総務部（中野部長）
 - ・事業変更なく、例年通り行う予定。
- 2) 会員管理部（吉田部長）
 - ・事業変更なく、例年通り行う予定。
- 3) 財務部（布上部長）
 - ・事業変更なく、例年通り行う予定。
 - ・1. 財産・会計業務と5. 公益法人会計業務は別なのか。
⇒一緒である。5は削除する。
- 4) 福利厚生部（細川部長）
 - ・事業変更なく、例年通り行う予定。
 - ・来年度は榎原リレーマラソンに参加予定。
 - ・6月に傷害保険の案内を送付予定。

<社会局>

- 5) 医療保険部（佐藤社会局長）
 - ・事業変更なく、例年通り行う予定。
 - ・医療保険に関する情報収集・公開を行っていく。
- 6) 介護保険部（佐藤社会局長）
 - ・事業変更なく、例年通り行う予定。
 - ・介護保険改定に関する勉強会を実施予定。

7) 社会福祉部

- ・事業変更なく、例年通り行う予定。

8) 理学療法啓発部（岡本部長）

- ・第23回公開講座開催の開催を予定している。日時は平成27年7月12日の日曜日であるがこれは日本理学療法士協会より指定された日である。
- ・公開講座の際に配布できるようなグッズの作成（うちわなど）を考えている。予算は5万程度である。

<学術局>

9) 生涯学習部（徳久部長）

- ・事業変更なく、例年通り行う予定。
- ・来年度からe-ラーニングが経験年数関係なく、利用可能となる。そのため、新人研修プログラムの参加者が減ることが予想され、収入も減少すると考えられる。
- ・新人研修プログラムのテーマAはe-ラーニングでは受講できないので、第1回目は人数の変動は少ないと考えられる。

10) 研修部（後藤部長）

- ・来年度より、本会主催の研修会が2回、日本理学療法士協会からの委託事業の講習会が2回となる。
- ・本会主催の第1回研修会のテーマは決定しており、「労働環境・ウーマンズ キャリア」としている。今回は外部講師2名を予定している。
- ・開催テーマに伴い、託児所の設置（委託業者）を検討している。予算が増える見込みである。
- ・受講費は会員1000円、非会員2000円である。
- ・日本理学療法士協会からの委託事業の第1回講習会の開催日は8月くらい、第2回は未定である。

11) 学術誌部（石橋学術局長）

- ・事業変更なく、例年通り行う予定。
- ・発刊部数は理事会で検討する。

<広報局>

12) 会誌部（堀口部長）

- ・21号の編集・発刊、22号の編集を予定している。

13) ホームページ管理部（赤松部長）

- ・来年度（4月）よりホームページの更新は各部・委員に行ってもらようになる。
- ・プロジェクターを使用し、ホームページ更新方法の説明が行われた。今後も、説明会を開催する予定。何か意見があれば赤松部長まで。

- ・研修費用はカード利用にてホームページ上で支払えるようになる。

<各委員会>

1 4) 第25回奈良県理学療法士学会準備委員会（細川準備委員長）

- ・6月28日日曜日に開催予定。
- ・フードコートと書籍販売を行う予定である。すでに理事会で承認済み。
- ・学生のフードコートの値段設定をどうすればよいか。
⇒会員と一般では100円の差をつけている。学生に関しては理事会で検討。

1 6) 第26回奈良県理学療法士学会準備委員会

- ・準備委員の選出は済んでいる。

1 7) 表彰審査委員会（堀口委員長）

- ・事業変更なく、例年通り行う予定。

1 8) 新人研修委員会（委員長代理 細川福利厚生部長）

- ・来年度より「脳卒中リハビリテーションコース」を追加予定。
- ・コース増加により、開催期間が少しだけ重なるコースもある。

1 9) 専門領域委員会（田平委員長）

- ・事業変更なく、例年通り行う予定。

2 0) ブロック活動推進委員会（藤川委員長）

- ・中和・南和ブロックの演題募集に関しては各院・施設に事前に声掛けをする。
- ・新人プログラム研修の必須項目ではなくなったため、発表者が減少している。
⇒ポイント付与することも可能である。

2 1) 選挙管理委員会（委員長代理 尾崎会長）

- ・事業変更なく、例年通り行う予定。
- ・選挙となれば5月の総会で行う。

2 2) スポーツメディカルサポート委員会（福本委員長）

- ・来年度より名称変更となる。
- ・高校野球サポートも追加。
- ・奈良マラソン救護部会への出席は会議として認められ、会議費の請求可能。
- ・高校野球サポートに関しては、高校野球連盟より支払い等はないのか。
⇒打ち合わせ等に関しては出ない。大会当日は出る。
- ・B Jリーグサポートやスクールトレーナーの依頼が多々あるが、本委員会として活動していいのか。
⇒依頼は大学や病院宛である。トレーナー料などの支払いはなくボランティアである。
本会で行うのと一個人として行うのでは、スタンスが違う。今後検討する必要あり。
- ・追加事業として「5. 県内スポーツ活動に関するメディカルサポート」と記載する。

2 3) 地域包括ケアシステム推進委員会（佐藤委員長）

- ・導入研修を開催予定。
- ・県・各市町村との情報交換を追加記載する。

24) その他

- ・増田副会長より公益事業に関する説明があった。各部・委員会の事業報告・事業計画の横に公1・他1・管理などが記載されている。今後は、各部・委員会が公益事業であるのかそうでないのか意識しながら行っていくようにする。

(午後の部)

4. 27年度予算案報告・審議

尾崎会長、布上財務部長から平成27年度事業計画書・収支予算書について説明がなされ、審議の結果、理事全員に承認された。なお、事業計画書、収支予算書の軽微な事項の修正については会長に一任する。

5. 資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達及び設備投資の見込みについて、審議の結果、来年度の資金調達及び設備投資は行わないことが理事全員に承認された。

6. 会長行動報告 (尾崎会長)

- 12/7 研修部 第3回研修会
 - ／13 奈良県医療推進協議会役員会 (代:石橋)
 - ／14 奈良マラソン
 - ／20 第1回 リハビリ3団体連絡協議会 (仮称)
 - ／20 リハビリ3団体役員懇親会
 - ／21 日本協会 学会検討特別委員会 第3回
- 1/6 調整会議 /8 財務部 会議
 - ／17 理学療法啓発部 会議・反省会・打ち上げ
 - ／18 定例(拡大)理事会 第8回

7. 会員異動承認

平成26年12月6日から平成27年1月18日までの会員異動が理事全員に承認された。

8. 総会議案について (尾崎会長)

- ・理事会の日程および第22回定期総会議案は以下の通り決定した。
 - (議案) 第1号議案 平成26年度事業・決算及び監査報告の承認に関する件
 - 第2号議案 平成27年度事業計画・予算案の承認に関する件

第3号議案 平成26年度・27年度役員選出に関する件

第4号議案 選挙管理委員の選出に関する件

- ・総会前の4月の理事会で、監査の報告及び決算の承認を行い、総会へ提出する。

9. その他

1) 会誌の発行部数と送付先について（尾崎会長）

- ・自宅会員へ送付するとなると、各院所1部に対し公平性を欠く。自宅会員へ変更する会員も出てくることが予想される。

⇒各院所・県内関連団体、役員へ1部送付し、自宅会員へは送付しない。

会誌の発行部数は基本200部とする。

2) 第25回奈良学会のフードコート料金について（尾崎会長）

- ・検討した結果、フードコートの学生料金は会員と同額とすることが決められた。

3) 講師料の規程について（石橋理事）

- ・役員が行動した時の費用に関して、以下の設定の通り承認された。

本会役員及び部長・委員長 ⇒ A（教授クラス）

本会副部長・委員長 ⇒ B（准教授クラス）

4) ALSの損害賠償訴訟について（門脇監事）

- ・ALS患者がリハビリをめぐり、奈良地裁で起こした訴訟に関して、門脇監事より訴状などが紹介され、理事にて話し合いが行われた。
- ・今まで裁判になった事例は、主に訓練中の事故（骨折、転倒など）であったが、今回は初めてリハビリテーションに関するエビデンスを問われている裁判である。

5) 公益法人向けの説明会について（廣池理事、増田理事）

- ・主に事業報告および事業計画の提出の方法、事業を変更した場合の届出の方法、監査の流れや事例等を、県が出してきた資料をもとに理解する必要がある。
- ・理事会には監事全員の出席が必要となるため、来年度より理事会の形態を変えていく必要がある。

⇒理事会は法人法に則り4回開催とする、慣れてくれば2回の開催も検討する。

毎月、役員は集まり役員会を開催する。

今年度の各理事会では監事全員が出席している。理事会の日程は総会にて決める。

理事会で細則を見直し（第9条の削除）、総会の議案とするか検討する。

6) 政策委員会の設立について（尾崎会長）

- ・活動内容は連盟の準備を主とし、新年度から活動を開始する。

⇒政策委員会を設立し、委員長は尾崎会長とすることが承認された。

7) 奈良県脳外傷友の会について（西田理事）

- ・今年度は4回の高次脳リハ講習会実行委員会が開催され、研修会は2回開催された。来年度も引き続き西田理事が参加する。

- 8) 奈良県医療推進協議会について（石橋理事）
- ・ 尾崎会長の代理で石橋理事が出席。医療と消費税の問題について話し合いがあり、医療推進協議会として決議文書を提出することが決められた。
- 9) 企業の社会貢献活動について（中村理事）
- ・ 企業の社会貢献活動担当として、各自治体や公民館へ行き、本会の理事としても配布物の配布や、地域包括ケアへの関わりを説明する等の活動を行っている。
- 10) 福祉パークからの依頼について（佐藤理事）
- ・ 来年度の福祉パークの公開講座で、高齢者を対象とした腰痛予防の講座の開催を検討している。本会より講師を紹介して欲しいとの依頼がきている。
⇒専門領域委員会の奈良整形外科リハ勉強会へ相談する。
- 11) 第27回奈良学会について（尾崎会長）
- ・ 学会長および準備委員長として、岡本先生と福本先生へ打診を行う。

以上